

鬼の里のイベントに人の波



大越町の夏の祭典「第21回鬼の里納涼夏まつり」が8月13日、つつじレインボーロード特設会場で開かれました。

福島ベンチャーズの演奏で開幕し、カラオケ大会やよさこい踊り、大道芸しゅうちゃんのバルーンアートなどが繰り広げられました。恒例の「大声大会」では、4歳の女の子が「ママ大好き！」と叫ぶなど、元気いっぱい声の大きさを競いました。お笑いコンビU字工事さんのライブでは会場が埋め尽くされ、藤めぐみさんの歌謡ショーや鬼五郎・幡五郎太鼓の演奏が会場を盛り上げました。

約1200発の花火が夜空を彩り、来場者は真夏の夜のひとときを楽しみました。



常葉の夏の夜を楽しむ



ときわお盆の夕べが8月15日、常葉行政局前駐車場で開かれ、帰省した方や家族連れなど約2千人が常葉の夜を満喫しました。

会場の中央には大型のやぐらが生まれ、町商工会青年部のピアガーデンや「ふれ愛隊ときわ」の出店などが並び、祭りを盛り上げました。開会式では子どもたちに太鼓を指導している久納芳三郎さん(郡山市)に感謝状が贈られ、市のキャンペーンクルーが観光をPRしました。

本宮市出身の歌手福本えみさんの歌謡ショーや打ち上げ花火が催され、会場は一気に祭りの雰囲気になりました。やぐらを囲んでの盆踊りには、浴衣や法被を着た子どもから大人までの踊り手が参加し、踊りの輪を広げました。



満開のひまわりが2組を祝福



牧野夏祭り「ひまわりフェスティバル」が8月15日、大越町の愛宕山つつじ公園で開かれました。会場は6月2日に植えられた3万本のヒマワリが満開を迎え、2組のカップルが結婚式を行いました。

福島ひまわり里親プロジェクトの一環として、種まきや苗植えに協力した郡山市在住の鈴木大基さん・恵さん、石井朋之さん・梓さんが式に臨みました。誓いの言葉や誓いのキスが披露され、紅白のまんじゅうをお互いに食べさせ合いました。多くの参加者が笑顔と拍手で祝福した結婚式の模様は、地元テレビ局が取材して全国放送されました。

山の斜面では、長さ90mの竹をつないだ流しそうめん大会が催され、子どもたちが冷たいそうめんをおいしそうに頬張りました。

滝根の多彩な催しを満喫



今年で5回目の「滝根っこ夏まつり」が8月15日、JR神俣駅前広場で開かれました。

ステージでは、地元の女子高生バンドが登場した滝根っこライブや、あぶくま太鼓・紅組の和太鼓演奏などが披露され盛り上がりました。浴衣ファッションショーや滝根の特産品を食べ比べて当てるゲーム、風船割り選手権などユニークなイベントには、拍手と笑いが沸き起こっていました。商工会女性部などが出店した屋台村も、終日にぎわいました。

